

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾二宮		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者満足度が非常に高く、「安心できる居場所」「安全基地のような存在」「楽しく振り返って話してくれる」といった声が多数あります。通所を楽しみにしている児童が多く、心理的安全性の高い教室です。	活動プログラムが非常に工夫されており、外出・調理・電車利用など多様な体験活動が実施されています。「楽しく学べる工夫がある」と高評価を得ています。	中高生の利用増加に伴うスペース不足への対応（レイアウト工夫・活動分離）を継続的に検討します。
2	個別支援計画の作成・説明・見直しが行われており、モニタリングやケアカンファレンスを通してニーズに即した計画が策定されています。保護者からも信頼の声が多く寄せられています。	重度児やマンツーマン対応が必要な場合には職員を多めに配置するなど、状況に応じた柔軟な人員配置を行っています。	パート職員の勤務調整や人件費バランスの見直しを行い、安定した体制づくりを進めます。
3	活動プログラムが非常に工夫されており、外出・調理・電車利用など多様な体験活動が実施されています。「楽しく学べる工夫がある」と高評価を得ています。	記録を徹底し、誰でも入力できる体制を整え、支援の検証・改善につなげています。	パート職員の勤務調整や人件費バランスの見直しを行い、安定した体制づくりを進めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロア構造のため、クールダウン専用室がなく、パーティションや職員配置で対応している状況です。個別空間確保が課題です。	利用学年が小学生～高校生まで幅広く、活動時間帯や身体サイズの違いによりスペース調整が難しい状況があります。	空間活用の見直しや時間帯分散により、集中スペースと活動スペースの明確化を進めます。
2	ワンフロア構造のため、クールダウン専用室がなく、パーティションや職員配置で対応している状況です。個別空間確保が課題です。	送迎時間や業務量の影響で、支援後の全体振り返り時間が確保しづらい状況があります。	記録共有の効率化や短時間振り返りの仕組みを構築し、PDCAの質を高めます。
3	地域交流（児童館・他児との交流）が現状少なく、交流機会の拡充が課題です。	家族支援や地域交流はニーズはあるものの、頻度や体制面で十分ではありません。	保護者会・参観日・兄弟参加行事を増やし、「家庭まで支える教室」への発展を図ります。